

知覚・認知心理学

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》齊藤 恵一 (心理科学部) 昆野 照美 (非常勤講師)

【概要】

我々が外部からの情報を捉え(知覚)、それを蓄えたり(記憶)、処理して判断したり(思考)、といった内部のプロセス(認知)について心理学がこれまで明らかにしてきたことを理解し、臨床への応用を考える。

【学修目標】

公認心理師としての基礎的な知識を獲得する。
この分野の知見を通して臨床場面への応用を考える。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。